



記者発表資料



けんおうどう

圏央道

さがみはらあいかわインターチェンジ

相模原愛川 I C ~ 高尾山 I C 間

たかおさんインターチェンジ

＜開通 1 週間後の速報＞新たに開通した圏央道の交通量をお知らせします

6月28日。圏央道により東名と中央・関越がつながりました。

- 開通後 1 週間の交通量は平均34,000台。
- これまで開通していた隣接区間の交通量は、大幅に増加。
- 圏央道に並行する国道16号では、転換は限定的。
- 開通に伴い、安定的な配送など物流への効果や、開通を契機とした新たな観光ルートの企画など観光面での効果も現れ始めています。

【圏央道相模原愛川 I C ~ 高尾山 I C 間の交通量】

日 付	日別交通量 相模原愛川 I C ~ 高尾山 I C 間	備 考	天 候※1
6月28日（土）	21,200台	15時開通 9時間交通量	雨後一時曇
6月29日（日）	53,200台	24時間交通量	曇時々晴一時雨
6月30日（月）	30,000台		曇
7月1日（火）	26,100台		晴一時曇
7月2日（水）	31,900台		晴一時薄曇
7月3日（木）	29,800台		曇後一時雨
7月4日（金）	30,600台		曇時々雨
7月5日（土）	38,100台		雨後時々曇
7月6日（日）	44,600台		曇

※1 天候は横浜市の屋の天気概況を記載（気象庁ホームページより）

※2 開通 1 週間後の交通量は平成26年6月29日（日）～5日（土）の日交通量の平均値

発表記者クラブ

国土交通省記者会、国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ
八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所

TEL：042-643-2001（代表）

副所長 佐久間 博之 計画課長 大嶋 精一

中日本高速道路（株）東京支社 広報・CSチーム

TEL：03-5776-5257（マスコミ専用）

整備効果① 開通直後の交通状況

- ・ 圏央道の開通後 1 週間の交通量は、平均34,000台。
- ・ これまで開通していた隣接区間の交通量は、大幅に増加。

圏央道(圏央厚木IC～相模原愛川IC間):22,400台→46,600台[108%増]

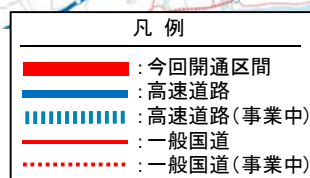
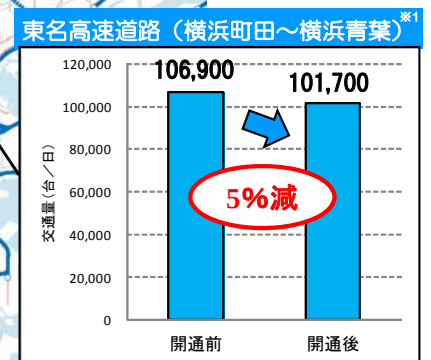
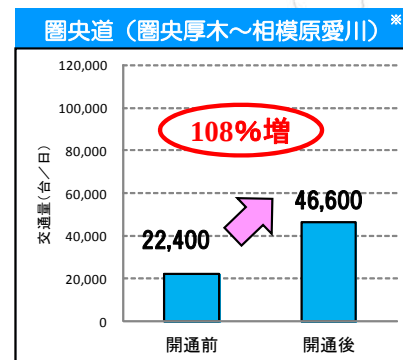
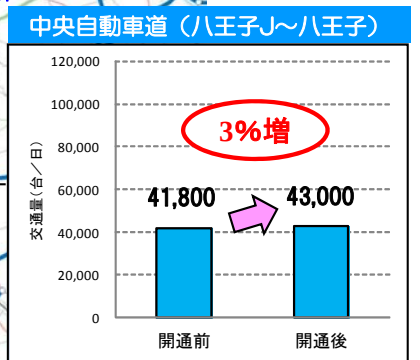
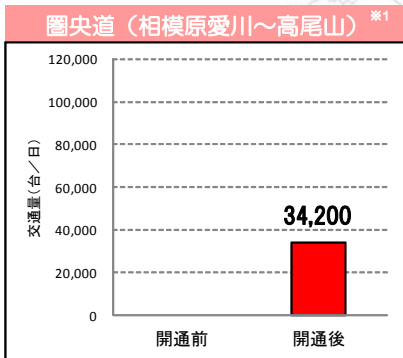
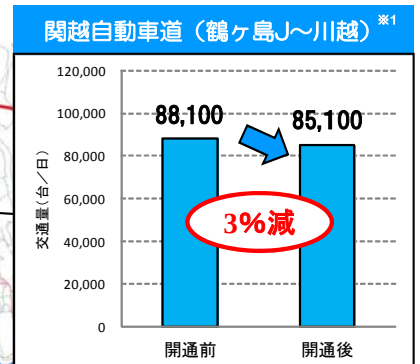
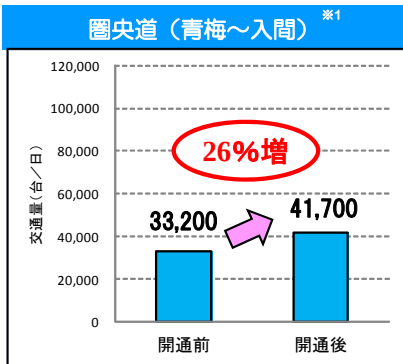
圏央道(青梅IC～入間IC間):33,200台→41,700台[26%増]

- ・ 東名・関越はやや減少、一方、中央道はやや増加。

東名高速(横浜町田IC～横浜青葉IC間):106,900台→101,700台[5%減]

関越道(鶴ヶ島JCT～川越IC間):88,100台→85,100台[3%減]

中央道(八王子JCT～八王子IC間):41,800台→43,000台[3%増]



※1 出典:NEXCOデータ

開通前:平成26年6月21日(土)～27日(金)の日交通量の平均値
開通後:平成26年6月29日(日)～ 5日(土)の日交通量の平均値

整備効果① 開通直後の交通状況

- ・ 圏央道に並行する国道16号の交通量は、打越～大和田四では減少しているが、淵野辺交差点では現時点では変化がなく、転換は限定的。

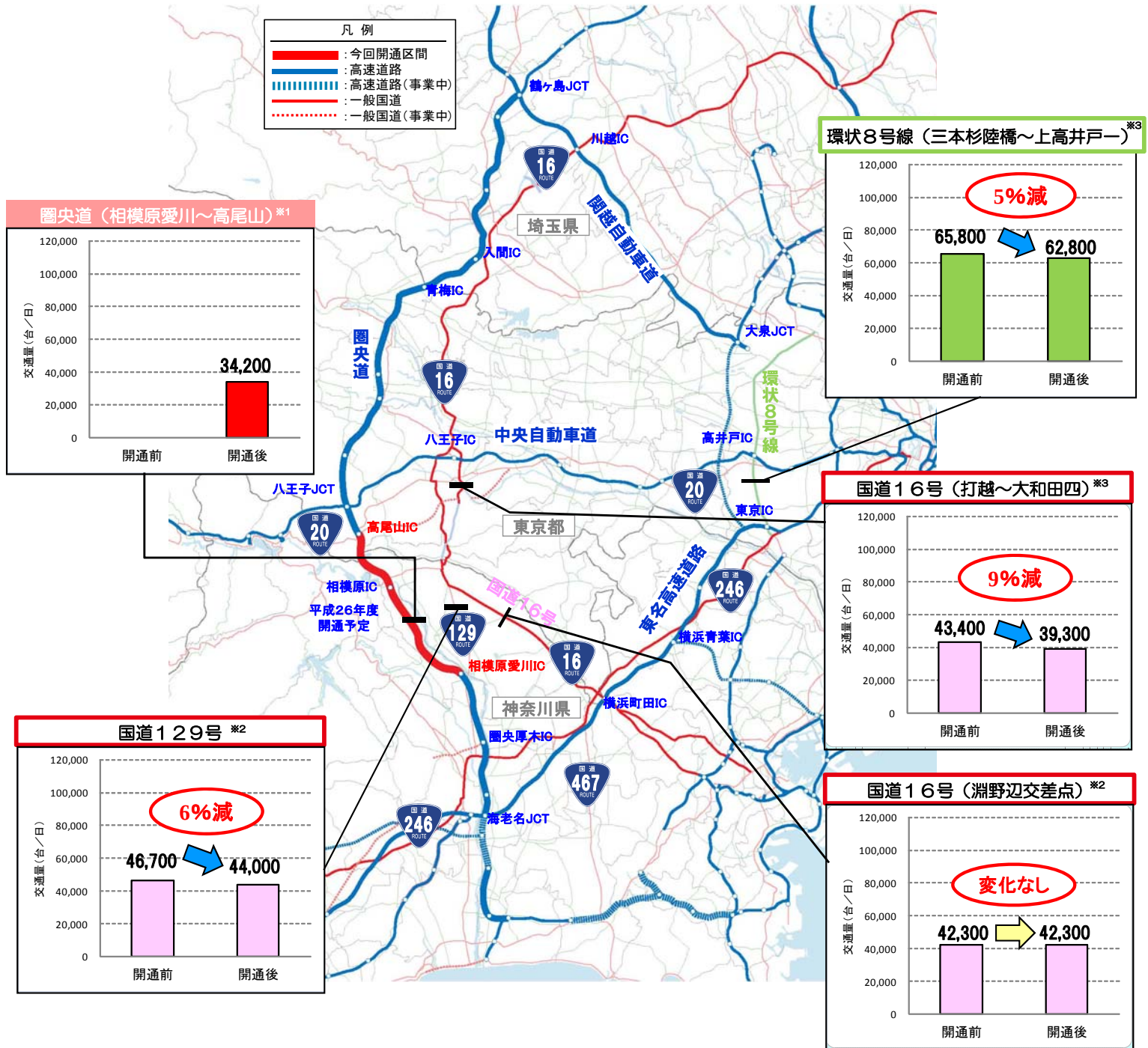
国道16号打越～大和田四: 43,400台→39,300台[9%減]

国道16号淵野辺交差点: 42,300台→42,300台[変化無し]

- ・ 国道129号、環状8号線は減少。

国道129号: 46,700台→44,000台[6%減]

環状8号線: 65,800台→62,800台[5%減]



※1 出典: NEXCOデータ

開通前: 平成26年6月21日(土)～27日(金)の日交通量の平均値
開通後: 平成26年6月29日(日)～ 5日(土)の日交通量の平均値

※2 出典: 国土交通省データ(交通量調査)
【調査日】

開通前: 平成26年6月3日(火)の日交通量
開通後: 平成26年7月3日(木)の日交通量

※3 出典: 警視庁トラカンデータ

開通前: 平成26年6月21日(土)～6月27日(金)の日交通量の平均値
開通後: 平成26年6月29日(日)～7月 5日(土)の日交通量の平均値

整備効果② 都心を通らず、目的地へ

- ・圏央道がつながることにより、都心を迂回でき、移動時間の短縮の効果を実感する声を頂いています。

■圏央道の開通前は・・・



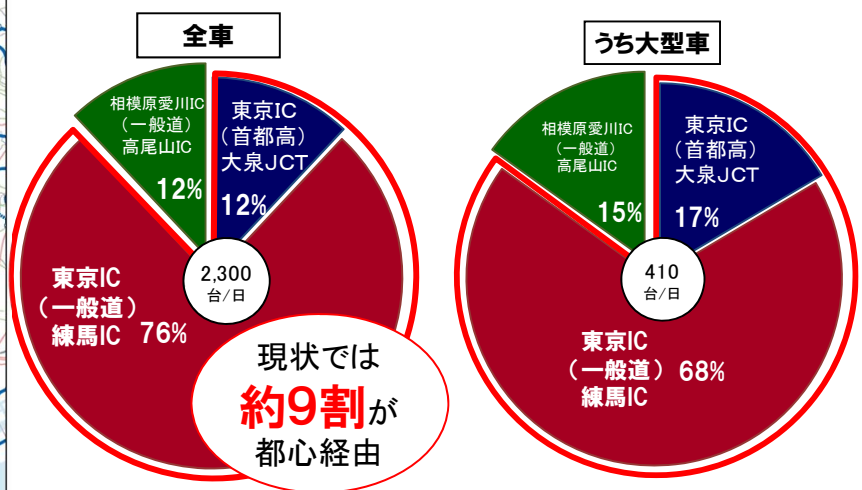
＜広域移動の現状＞

圏央道がつながっていない現状では…

- 首都高速や環状8号線など、都心経由が約9割
- 広域移動する大型車も一般道を乗り継ぎで利用

◇東名高速-関越道間の経路選択

※ETCログデータ(H25年11月の平日)をもとに分析



一般利用者の声

(出典:6月29日厚木PAアンケート結果)



(秦野市在住)

これまで関越道方面へ行くときは、都心(環八)経由だったのが、早くて便利になった。東北道まで早くつながってほしい。つくばに実家があるので、都心が混んでいるときにルート選択ができる。



(相模原市在住)

関越道・東北道方面へ仕事で利用する。
以前は首都高まわりで移動していたが、圏央道を使えば40～50分短くなり、便利。

その他のご意見

(出典:ヒアリング結果)

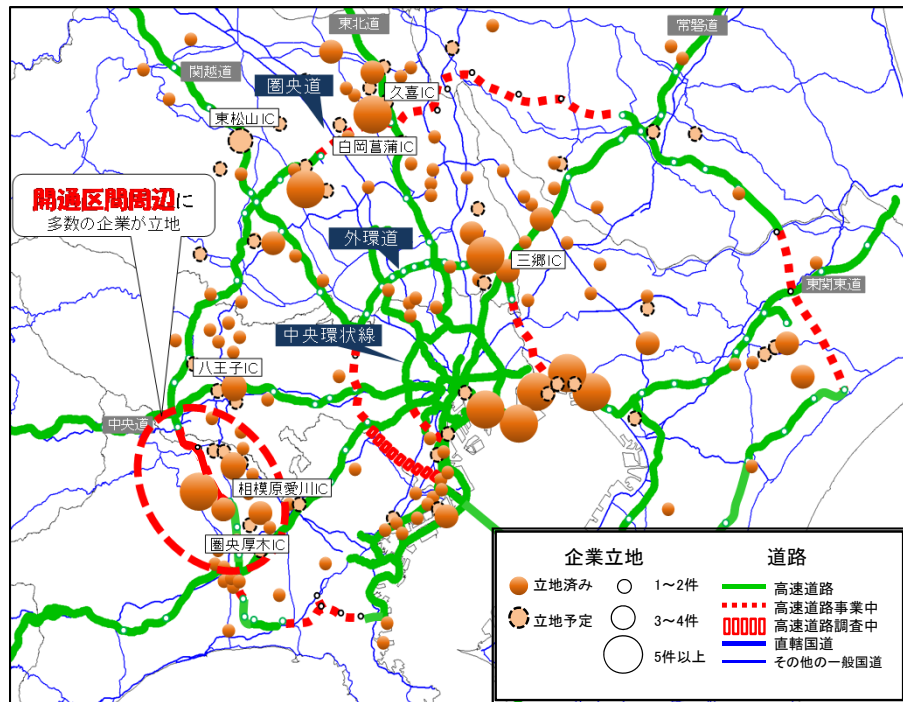
- ・開通によって、神奈川県内と甲信越方面とのスムーズな広域移動や、県央部などの渋滞緩和が期待される。移動時間に費やしていたコストを働くことや余暇にまわすことができる。

整備効果③ 物流への貢献

- ・圏央道の整備により、東名や首都高の渋滞が緩和され、都心への安定的な配送や遠方への配送の余裕が生まれるといった声を頂いています。

■企業立地の状況

- ・圏央道を利用することを前提として、大規模・高機能な**物流拠点**が圏央道沿線に**多数集積**
- ・貨物の**当日配達圏**の**拡大**への寄与が期待



企業の声

〔周辺物流企業のコメント〕

- ・当社では、東北や北関東方面への配送に圏央道を使い始めている。
- ・朝の東名、首都高の渋滞が緩和され、都心への配送が安定した。
- ・これまで都心を経由することで安定的な配送が難しかった岩手県域への配送などにも余裕が出てくる。

(出典: 7月3日ヒアリング結果)



物流に関する主な反応等

※新聞報道より国土交通省作成

- ・配送時間を大きく短縮でき、経由するだけの車が減るので都心への配送も楽。最短で注文翌々日だった商品到着を翌日や当日に早められるか検討している。

整備効果④ 観光地へのアクセス向上

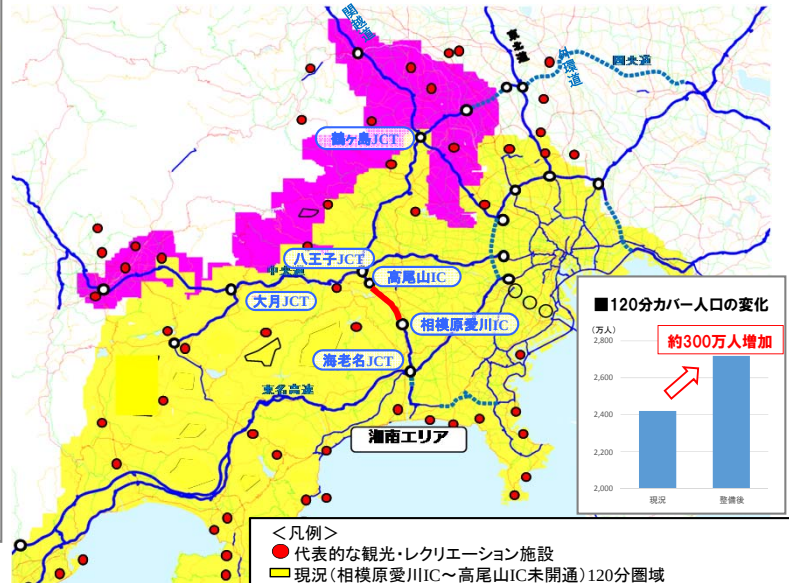
- ・圏央道がつながることを契機として、世界遺産を結ぶ新たな観光ルートの企画が提案されるなど、観光への効果が期待されています。

■2つの世界遺産を結ぶ、新ゴールデンルート



＜湘南エリアへのアクセス圏域の拡大＞

- ・新たに約300万人の方々が2時間以内で、湘南エリアへアクセスが可能



一般利用者の声

(出典:6月29日厚木PAアンケート結果)



(高崎市在住)

今までは高速を使っていなかったが、開通したので高尾山や静岡方面に行ってみたい。



(あきる野市在住)

海が好きで江の島に行くことが多い。今後便利になる。これまで下道は厚木付近で渋滞していたので、海に行きたいときは東富士五湖道路経由で沼津へ行っていた。

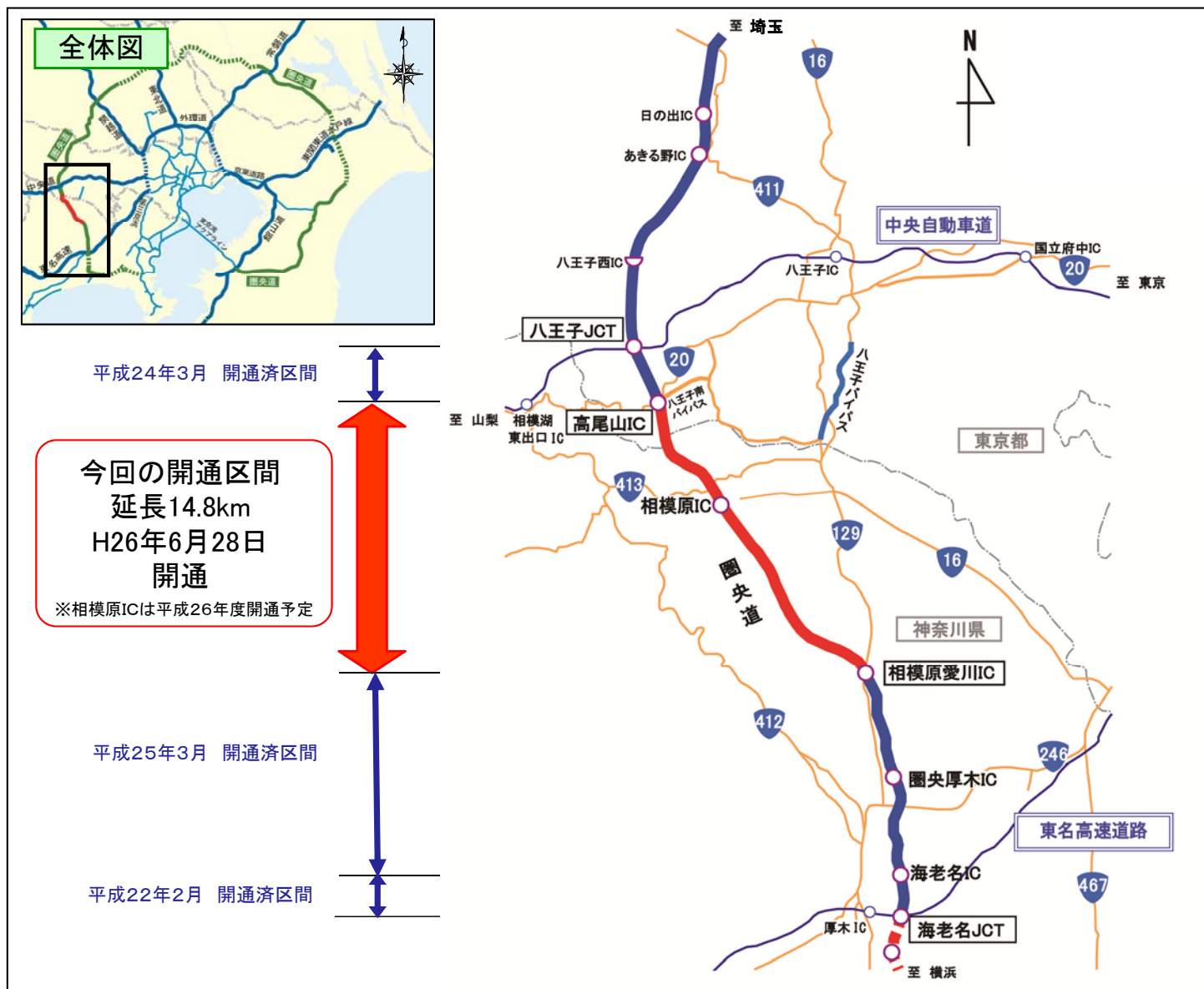
観光等に関する主な反応等

※新聞報道より国土交通省作成

- ・富岡製糸場など群馬県内を巡る静岡発日帰りツアーを企画したところ、キャンセル待ちが出るほど人気を集める。

開通区間概要

- ・路線名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
- ・開通区間：相模原愛川IC（厚木市上依知^{かみえち}）～高尾山IC（八王子市南浅川町^{みなみあさかわまち}）
（※相模原ICは平成26年度開通予定）
- ・延長：14.8km
- ・沿道道路：国道129号（相模原愛川IC）、国道20号（高尾山IC）
- ・開通日：平成26年6月28日（土）
- ・車線数：4車線



■今回開通区間の標準断面図

